

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	
科 目 名	成人看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	藤田 美穂	実務経験と その関連資格	関西医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院 約10年勤務			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 成人を取り巻く環境と成人各期における対象の身体機能の変化ならびに心理・社会的特性を理解する。また、健康から健康障害が連続体であると捉え、成人期の健康障害と疾病予防、ヘルスプロモーションのための看護アプローチ、成人期における看護の役割を学ぶ。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 終講試験(90%) 小テスト,課題レポート,授業態度,出席状況(10%)						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論、安酸史子・鈴木純恵・吉田澄恵 編、株式会社メディカ出版						
<b>《授業外における学習方法》</b> 指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習しておくこと						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> グループワーク、意見交換や学びの確認・共有時間には活発に自分の思いを表現していくようにして下さい。授業に関するレポートを提出する場合は、提出期限・提出時間を守って下さい。遅れての提出は、受け付けません。授業での課題は点数化しますので守らなければ点数加算されないことを理解して下さい。成人看護の考え方の基盤になる授業です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	1. 社会における「成人の定義」を理解する 2. 人が「成人」であることを自覚する状況を理解する 3. 成人各期の成長発達を理解する 4. 成人各期の健康問題を理解する		教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第1部 1 成人であるということ 2 成人の成長発達	
	各コマにおける授業予定	1. 成人であるということ 1)「成人」の定義、2)「成人」であることの自覚、3)「成人看護学」分野で用いられている成人の特徴の概要 2. 成長発達の特徴 1)成人の成長発達、2)成人の役割、3)成人各期の健康問題、4)成人と死				
第2回	授業を通じての到達目標	1. 成人の身体機能を加齢による影響、疾患・外傷による影響、生活習慣・生活行動による影響の三つの側面からとらえることを理解する 2. 成人の身体機能の変化を加齢による影響、疾患・外傷による影響、生活習慣・生活行動による影響の三つの側面からとらえることを理解する 3. 症状別看護、疾患別・治療別看護、健康レベル・経過別看護、機能別看護の考え方を理解する		教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第1部 3 身体機能の特徴と看護	
	各コマにおける授業予定	1. 身体機能の安定性と変化 2. 医学的知識を応用した身体機能の理解に基づく看護 3. 身体機能の変化を分析する視点 4. 身体機能の変化に着目した看護				
第3回	授業を通じての到達目標	1. 成人の日常生活の共通性を理解する 2. 成人の生活スタイルの多様性を理解する 3. 成人の生活とQOLを理解する		教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第1部 4 成人の生活を理解する視点と方法	
	各コマにおける授業予定	1. 生活とは何か 2. 成人の生活の理解 3. 成人の生活のアセスメントガイド				
第4回	授業を通じての到達目標	1. 健康観の歴史の変遷を知る 2. 保健行動の特徴と健康観の関係について理解する 3. 成人の健康観に影響を及ぼす要因について知る 4. 成人の健康観を理解する方法を習得する		教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第1部 5 健康観の多様性と看護	
	各コマにおける授業予定	1. 主要な健康観 2. 個人の健康観に影響を及ぼす要因 3. 個人の健康観を理解する方法 4. 保健行動と健康観				
第5回	授業を通じての到達目標	1. 学習者としての成人の特徴を理解する 2. 成人教育学の概念を理解する 3. 成人が学習する意義について理解する 4. 成人の健康レベルと学習方法の関係について理解する		教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第1部 6 学習の特徴と看護	
	各コマにおける授業予定	1. おとなの学びの特徴 2. 成人教育学の概念(アンドラゴジーモデル) 3. おとなの学びの目標 4. 健康状態と学習方法の関係				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 成人期の生活習慣と健康障害の関連を理解する 2. 成人が健康障害に関連して生活習慣を維持・変容する際の葛藤を理解する 3. 生活習慣病の可能性を考慮した看護方法を理解する	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第2部 7 生活習慣に関連する健康障害
		各コマにおける授業予定	1. 生活習慣に関連する健康課題 2. 生活習慣の是正		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ワーク・ライフ・バランスと健康障害について理解し、看護師の関わり方を事例で学ぶ 2. 成人期の職業と健康障害の関連や、職業性疾患および業務上疾病の予防と治療に関わる保健医療政策と職種を知り、職業性疾患の可能性を考慮した看護方法を理解する 3. 成人期の生活ストレスと健康障害の関連や、医療現場で患者と接する際にストレス関連疾患の可能性を考慮した看護方法を理解する 4. 成人期の身体活動の特徴や身体活動が健康に及ぼす効果、身体活動に伴い生じやすい健康障害、成人期の障害者の身体活動を理解する	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学概論 第2部 8 ワーク・ライフ・バランスと健康障害
		各コマにおける授業予定	1. ワーク・ライフ・バランスと健康障害の関連 2. 職業と健康障害 3. 生活ストレスと健康障害 4. 身体活動と健康障害		
第8回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定	終講試験(田村講師と合算)		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			